

本格的な夏がやってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、セーフティサポート搭載車(サポカー)にお乗りのお客様の体験談を集めてみました。

わたしのサポカー体験談

予防安全装置ってちゃんと作動してくれるの?と不安になりますよね。そこで、実際に予防安全装置のおかげで事故にならずに済んだ!という方の体験エピソードを集めてみました。

サポカーとは事故そのものを未然に防ぐための様々な機能を搭載した車の総称です。

お客様の実体験エピソード

後退時ブレーキサポートで助かった!

スペースアカスタム 30代女性 DSBS搭載車

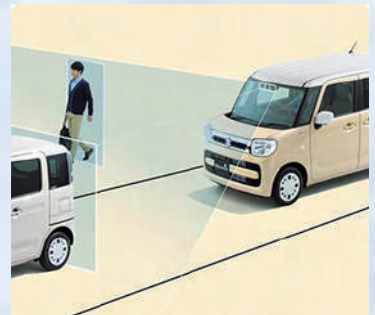
雨の日の夜、実家駐車場からバックで道路に出るときに向かいの家のブロック塀にぶつかりそうになり、自動ブレーキが発動しました。普段からギリギリを通るのでピーと警告音が鳴っているのは、慣れてしまっていて気にも留めていませんでしたが、その時はハンドルを切り始めるのが遅くて、ドンッ!!とブレーキが作動しました。車から降りて確認すると、あと10センチほどで思わず声が出ました。



後退時ブレーキサポート

センサーで車両後方の障害物等を検知して、音で接近をお知らせ。衝突の危険がある場合は自動ブレーキが作動します。

衝突被害軽減ブレーキのご紹介



DSBS(デュアルセンサーブレーキサポート)
単眼カメラ&レーザーレーダーで検知

DCBS(デュアルカメラブレーキサポート)
左右2つのカメラで検知

※写真はイメージです。



車線逸脱警報機能で助かった!

スペースア 70代女性 DSBS搭載車

長距離運転の帰り道、つついっボーっとしてしまい、車線をはみ出し、警報が鳴りました。音が鳴ってくれたおかげで目が覚めました。



車線逸脱警報機能 (60 km/h~)

車線をはみ出しそうになると、ブザー音とメーター表示でお知らせします。

誤発進抑制機能で助かった!

ワゴンR 20代男性 DSBS搭載車

お店の駐車場から出る際、バックしようとして、間違えてシフトをドライブに入れてしまいました。正面にはシャッターが下りていました。気付かずにアクセルを踏んだところ、誤発進抑制機能が作動し、衝突を回避できました。



誤発進抑制機能

前方に障害物がある場合などで、ペダルの踏み間違いがあった場合作動します。アクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を自動的に最長5秒間抑制します。

“うっかり”や“ボーっと”してしまうことは、ないのが理想ですが、誰にでも起こり得ることですね。そんな時に助けてくれるのが衝突被害軽減ブレーキなどのセーフティサポート機能です。ぜひ、セーフティサポート付きのお車で、より安心のカーライフを。

